自己推薦書

私は自分の運命と堂々と戦う人間です。

私は「向上心がある」人間です。「現状に満足していない」「夢を言い続ける」

大学一年のころ、経営学部からソフトウェア学部に転入しました。

大学二年生の時、二名の交換留学生定員の一人として、立命館大学に合格しました。しかし、留学に費用がかかりすぎるため、私はついに日本に来る機会をあきらめなければなりませんでした。そのことによって、家族の経済現状をはっきり認識し、悔しく思いました。それから、毎晩の空き時間を活用して、合間を縫って一気に136点でN2に合格しました。

日々勉強を続けたことで、結果、次のチャンスを見つけた。

大学三年生の時、私たちの学校の代表として、三週間の短期交換留学のために名古屋大学に行きました。そのとき、名古屋大学留学生奨学金のおかげで、僅かな費用で毎日の生活を送ったので、今も名古屋大学に心から感謝いたします。

最終成績はSでした。そのこと自体は嬉しいことではあったのですが、それと同時に北京大学、名古屋大学などの名門大学の学生と自分との差を痛感し、悔しく思いました。

そして、日本に対し、新しいイメージをできた。それをきっかけに、日本へ留学する気持ち。

帰国後、ほぼすべての自由時間を利用し、一生懸命独学し、144点でN1に合格しました。

大学四年生の時、家族の理解を得る、せっかくの中国の大学院への推薦を諦めて、日本へ留学するつもりでした。しかし、お母さんの突然の手術の為、

家族の負担をすこし減らすために、私は就職することを決めた。

留学エージェントによって、留学におけるさまざまなサービスを提供しています。

当時の私はどうしても日本に行きたくて、

どうしても私はもっと大きい世界を見たいです。

私は「負けず嫌い」な人間です。私は学生時代にテニス部に所属し、日々活動していたのですが、大学2年のころ、関東インカレでベスト16まで進出することが出来ました。そのこと自体は嬉しいことではあったのですが、それと同時に上位の選手と自分との差を痛感し、悔しく思いました。

そのため大学3年で迎える関東インカレではこれ以上の成果を上げるべく、通常の練習に加え、個別メニューとして毎日4時に起き、練習をおこなっていました。このように私は、過去の自分を超えるために負けず嫌いの強みを活かして努力を重ねることができる人間なのです。

自分の弱さを痛感し、悔しく思いました。

私は「向上心がある」人間です。私は大学2年の時に就職後に役立てられるよう、日商簿記検定2級を取得することに決め、そのための勉強を始めました。通信教育を始め、毎日朝晩2時間ずつ机に向かって勉強をし、試験に臨んだのですが、1度目の試験では不合格となってしまいました。

私はその悔しさをバネにさらに努力を重ね、次のテストまでの間、毎日朝4時～7時半、夜19時～23時を勉強時間に費やすことを続けました。試験勉強以外にも学業、部活動、アルバイトなどやることが多々ある中、時間を何とか確保し、日々勉強を続けたことで、結果、次の試験では合格を果たすことが出来ました。

大学二年生の時、わずか二名の交換留学定員の一人として、立命館大学に合格しました。あれから２年間の留学生活を始めるはずだったが、

でも、例え初年度の授業料でも、私の家族にとっては膨大な負担です。

それから、独学で一気に日本語能力試験N1レベルに合格しました。

三年生の時、名古屋大学短期日本語プログラムのおかげで、わずかなコストで、初めて日本に来ました。そして、名古屋で二週間の夢のような留学生活を送りました。私は今も名古屋大学と名古屋に対して、心から感謝いたします。